
マルシェ・ジャポン・イニシアティブについて

2009年9月にマルシェ・ジャポンが始まり、まもなく2年が経過しようとしております。

マルシェ・ジャポンは、年間延べ500万人の方にご来場いただき、約10億円を販売する市場へと成長したほか、首都圏を中心に、多くのマルシェ・タイプの販売スタイルのモデルとなりました。また、運営面でも、2年目以降（2010年4月～）農林水産省の助成が終了しましたが、多くの方のご支援や、様々な工夫により、自主運営の方法を確立して参りました。マルシェ・ジャポンの会場では、生産者と消費者、出店生産者同士、ボランティアと生産者等、様々な新しい関係が生まれ、マルシェを超えた活動へと広がっています。更に、東日本大震災においては、被災地のマルシェ・ジャポン・メンバーが支援の拠点として活動しているほか、都心部においても、風評被害に苦しむ生産者の受け皿としてマルシェ・ジャポンが大きな機能を果たしています。こうしたなか、マルシェを開催したいとの声が地方都市を含めた各地からマルシェ・ジャポンに寄せられておりますが、初期費用等の問題で実現に至っていないことが多いのが現状です。地方都市にマルシェ・ジャポンが広がることは、その地域の活性化の観点から有意義であるだけでなく、マルシェ・ジャポン・メンバー間の交流を深めることで、私たちが目指す、日本の農業の発展や人々が思いやりをもって笑顔で豊かに暮らせる社会の実現へ向けて不可欠であると言えます。こうしたことを踏まえ、当法人としては、本日、マルシェ・ジャポン・イニシアティブを取りまとめ、マルシェ・ジャポンの地方都市を含めた全国100会場での開催を目指して、以下の事項を取り組んで参ります。

(マルシェ・ジャポン・イニシアティブ)

- 1 マルシェ・ジャポンの普及活動の強化
 - ・マルシェ開設に係る設備等への助成に係る関係省庁、
地方自治体に対する要請
 - ・企業、個人に対する賛助会員等の募集
 - ・マルシェ開設者に対する運営ノウハウの提供
- 2 マルシェ・ジャポンの更なるクオリティの向上
- 3 食育等、消費者に対する働きかけの強化
- 4 生産者に対する参加呼びかけの強化